

反比例なのになんで比例定数なの？って方へ
以下私なりの解釈ですので、ご了承ください。
比例の式で比例定数ってなんとなく意味が分かりますよね。
比例を表す式

$$y = ax$$

で、 a を比例定数といいます。
では、なんで、反比例を表す式

$$y = \frac{a}{x}$$

で、 a は比例定数なのでしょうか？
それは、反比例の式ではこう考えることができるからです。
反比例の式を次のように書くと、

$$y = a \times \frac{1}{x}$$

ここで、 $\frac{1}{x} = X$ とすると、

$$y = a \times X$$

$$y = aX$$

となり、比例の式になったことがわかります。つまり、反比例の式を比例という言葉を使って置き換えると、 y は X に比例する。 $X = \frac{1}{x}$ なので、 y は $\frac{1}{x}$ に比例するとなります。
したがって、反比例も比例の式だということがわかるのでしょうか。
ですから、比例も反比例もともに、定数 a のことを比例定数というのでしょうか。
ではでは。